

支援

被災地に菜の花を咲かせるための 肥料の寄付を募っています！

「セントレア×岩手県大槌町×愛知県田原市復幸菜の花プロジェクト」への支援協力として、東日本大震災の被災地である岩手県大槌町に菜の花を育てるための肥料の寄付を受け付けます。

田原市と渥美半島観光ビューローでは、平成24年度から中部国際空港セントレアが実施する事業「セントレア×岩手県大槌町×愛知県田原市復幸菜の花プロジェクト」への支援協力を行っています。

これは、東日本大震災の被災地の一つである岩手県大槌町で行われている「大槌川に菜の花を植えて亡くなられた方への鎮魂と被災した方を元氣付けよう」という取り組みを支援するものです。

5月にはきれいな花を咲かせ、大槌町の皆さんを元氣付けることができ、ありがとうございました。



●大槌町の菜の花の様子

今年も、菜の花を育てるための肥料の寄付を受け付けます。皆さんからいただいた肥料は、中部国際空港セントレアを経由して被災地に届けられます。皆さんの温かいご支援を待ちしております。

●受付期間

7月29日(月)～8月2日(金)

●受付場所

伊良湖菜の花ガーデン駐車場
(旧伊良湖フラワーパーク)

●その他

必ず事前に、肥料の量と種類、持ち込んでいただける日時を、市役所商工観光課へ連絡のうえ、搬入をお願いします。

▼問い合わせ先

田原市役所 商工観光課

〒413-0522 田原市 23局 30522 FAX 23局 30817

今月の渥美半島の花～アンズリウム～

アンズリウム (鉢花／出荷時期:通年)

【花言葉】…^{ほんのう}煩惱・^{たわむ}情熱・戯れの恋

ハート型のおつややかな質感の、花とも葉ともつかない部分は、葉が変形した^{びつえんほう}仏炎包と呼ばれるもので、本来の花は仏炎包から伸びた尾のような部分です。

その姿から、ギリシャ語で「花(アンサス)」と「尾(オウラ)」を意味する花名がつけられています。赤色でハート型の仏炎包が一般的ですが、色は赤、白、紫、ピンク、緑、黄緑などがあり、形もハート型だけでなく卵型や細長くとがった形など、色も形もさまざまです。

観葉植物ですが、花持ちがよくアレンジメントなどにも利用されていて、別名で「紅団扇」とも呼ばれています。

田原市は県内1位の生産量を誇っています。

